

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立今治北高等学校大三島分校

学校番号(16)

評価実施日		令和4年2月24日(木)	
委員	氏名	所属等	備考
	松岡 洋介	今治市立大三島中学校長	
	渡邊 政美	大三島分校PTA会長	
	越智 義廣	上浦地域代表	
	田原 一寿	上浦地域代表	
	加島 愛	大三島地域代表	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <p>個性豊かな生徒が多い中、先生方は大変ご苦労されていると思います。生徒には何事にも挑戦することや、小さなハードルであってもそれを乗り越える喜び、充実感を感じさせるような教育を展開してほしい。</p> <p>授業参観では、どのクラスも真面目な態度で真剣に学習に取り組めていました。一人一人がしっかりと学習課題を把握して、意欲をもって主体的に学習できるように、今後も授業を展開してほしい。</p> <p>長期休業中の課外補習では、オンライン授業を活用してもよいのではないかと。下宿生活の生徒もオンラインであれば帰省することも可能ではないかと。</p> <p>(2) 生徒指導</p> <p>学校外で生徒と接し、不愉快な思いをしたことはない。今後も家庭と協力しながらより良い成長を促してほしい。</p> <p>明るく元気のある声であいさつをしてくれている。島内に住む人はもちろん、サイクリストの方など、島内外を問わず多くの人が大三島分校生の態度に感心している。</p> <p>家庭環境や生活面での困難を抱えている生徒に対して、それぞれの生徒の状況に応じた声掛けや支援が適切に行われている。</p> <p>発達段階に応じた自己肯定感を高める指導をお願いしたい。</p> <p>(3) 進路指導</p> <p>現状で問題なく、よく支援していただいている。生徒個々の長所を生かして、できるだけ早期に将来を真剣に考えさせていきたい。</p> <p>卒業後を見据えた計画的な指導として、自己効力感を高める指導をお願いしたい。</p> <p>大三島では、ここ数年で移住者がかなり増加し、職種も多様化している。インターンシップで体験できる職種の選択肢もさらに広がると思われるので、より地域と連携した活動をお願いしたい。</p> <p>(4) 家庭・地域との連携</p> <p>学校からの情報発信が積極的に行われており、学校の様子や日々の生徒の活動の様子などがよく伝わっている。</p> <p>緊急時だけでなく、普段の連絡にもマチコミメールを活用していただければありがたい。また、書面開催となった会合も、一人1台端末を活用するなどしてオンラインでの開催を検討してほしい。</p> <p>島外からの生徒が増加し、家庭との連携のあり方も難しくなると思うが、学校と家庭が協力しながら生徒を育ててほしい。</p> <p>(5) 組織運営</p> <p>生徒が中心となり、「大三島の魅力」をSNSで積極的に発信することで移住者が増えれば、島の子どもも増えると思う。「子育て世代が住みたいまち」全国1位に輝いた今がチャンスだと思う。大三島分校の長期的な存続に向けてがんばってほしい。</p> <p>島内の子どもが大三島分校や大三島の良さを知り、一人でも多くの子どもが大三島分校に魅力を感じ、進学を希望するように、参道ガイドや部活動、学校行事などの諸活動にも力を入れてほしい。</p> <p>来年度、基準を超える入学者を迎えることができそうで安心している。職員の皆様方の努力の賜物と感謝しております。</p>	<p>生徒の多様化に対応するため、大三島分校では、TTや習熟度別講座での学習を取り入れています。今後も、生徒の実態を適切に把握し、生徒一人一人が学習を通して分かる喜びを感じ、学習に主体的に取り組む態度の育成を通して、全体的な学力の向上を図ります。</p> <p>現在、オンラインでの授業を行う体制は整っており、新型コロナウイルス感染拡大時にも学びが止まる心配はありません。今年度の課外補習でもオンラインでの学習を取り入れています。さらに効果的な活用方法を研究します。</p> <p>あいさつは良好な人間関係を構築するために最も重要なことと認識しており、日々指導しております。島外から通学する生徒にも地域の方へのあいさつを欠かすことがないよう、継続して指導を行います。</p> <p>多様な生徒を迎え入れるため、大三島分校では教育相談体制の充実にも努めています。生徒の悩みの早期発見・早期解決に努め、明るく学校生活を送ることができるよう、引き続き支援します。</p> <p>生徒の進路希望に応じて丁寧な個別指導を実施し、進路実現につなげています。進路希望先に合格するためのだけの指導ではなく、社会の一員として生活していくための力を身に付けさせる指導を充実させます。</p> <p>インターンシップ先の固定化は学校としても課題と認識しています。島内の様々な職種を研究し、生徒の選択肢を広げることができるように努めます。</p> <p>ホームページだけでなく、分校通信やポスター、タウン誌への掲載等、あらゆる媒体を活用した効果的な広報活動を今後も継続します。</p> <p>マチコミメールの効果的な活用方法やPTA関係の会合のオンライン化について研究をすすめます。</p> <p>生徒の健全な成長には家庭や地域との連携は欠かせないとの認識のもと、より協力しあえる関係構築に努めます。</p> <p>大三島分校の振興に向けた生徒の活動と、地域の活性化は一体のものと考え、相乗効果を得られる活動が展開できるように工夫をしています。今後も今治市と連携・協働しながら効果的な活動を行います。</p> <p>分校の生徒の活動は注目されやすく、少子高齢化が進む地域では、活力を生むために必須であると考えています。今後も、教育的効果を高めつつ、魅力ある活動を展開します。</p> <p>継続して安定した志願者を得ることができるよう、大三島分校の魅力化により一層努めます。</p> <p>現在、地域の若い方からも多くのご支援をいただいています。より協力しあえる関係の構築に努めます。</p> <p>制度を効果的に活用して、勤務時間の縮減に努めます。</p>
<p>2 学校運営への提言</p> <p>学校の教育活動や学校運営に関して、さらに多くの地域の若い方々の力や声を取り入れることができる環境づくりをすすめてほしい。</p> <p>働き方改革をすすめ、教職員の負担軽減を図ってほしい。</p>	